

調査報告書

- 1 とき：2011年10月28日
- 2 行先：台風15号災害地域 守山区(志段味、吉根)・高蔵寺駅
- 3 参加者：わしの恵子、山口清明、岡田ゆき子、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容

- ・ 守山区下志段味(下志段味橋庄内川左岸地域)

社協より約80人、東濃信金から27人、防災ボラネットより10人、守山区ボランティア連絡協議会より10人のボランティアが入り、サンライズ志段味などの片付け作業をしていた。この地区の活動は想定していなかったが、23日の午前に地域の方に困りごとの聞き取りを行い動員されたとのことだった。

- ・ 工場では、水に浸かってしまった後片付けに追われていました。
- ・ 都市整備公社志段味事務所の鳥居開発部長は「庄内川のカーブの外ラインを優先して工事していて、内側の堤防が特に低くなっているところから水が入り天井に届くくらい浸水してしまった。低い所のかさ上げ工事を以前からやらなかんと言っはいたが…。
- ・ この事務所は床下浸水だったが電話や電線の配線が床にあり、全てが使えなくなってしまった。22日午後3時に臨時工事で対応した」と話していた。



水浸しの段ボール



ポリ容器の山



多くのボランティアが入って
片付けていたサンライズ志段味

守山区 桔梗平

- ・ 庄内川につながる排水路の樋門を閉めた後に、排水路があふれ新興住宅が浸水。志段味観測所 4.6m、または吉根樋門 3mに達した場合閉門することになっていて、11時に吉根樋門 3.07mになったので12時に閉めたと報告されている。
- ・ 新興住宅に5月に越してきたばかりの夫婦は「樋門を閉める連絡もサイレンも何もなかった。住民に知らせるのが当たり前ではないのか？何も知らされずに浸水してしまった。怒りのやり場がない、人命を軽く考えた対応だ。これからも大雨の度に

浸水するのか不安でたまらない」と怒りをあらわにしていました。



・避難広報のあり
方の総点検と建築
基準の見直しの必
要性を感じました。



吉根排水樋門